

# 苦難乗り越え、観光立国に前進

## 09年の観光業界 カメラがとらえた



### 政権交代

8月の衆院選で民主党が圧勝し、政権が交代した。国土交通相には前原誠司氏が就任し、観光立国を成長戦略の柱として推進すると表明。外国人旅行者数を2019年に2500万人、将来的に3000万人とする新たな目標を打ち出した。予算の拡充にも取り組み、2010年度観光庁予算の概算要求は前年度比4倍の251億円を計上した。=9月17日、就任会見で抱負を語る前原国交相



### 高速道路料金 上限1000円割引

土・日曜、祝日の高速道路が上限1000円で乗り放題になるE.T.C搭載車に対する割引が3月28日にスタートし、ドライブ旅行に注目が集まった。今年は日並みの関係で9月に大型連休「シルバーウィーク」があり、高速道路の一部では激しい渋滞も起きた。=渋滞する5月の大型連休の高速道路



### 訪日中国人に 個人観光ビザ

7月から中国に対する個人観光査証(ビザ)の発給がスタートした。世界的な景気の低迷や円高、新型インフルエンザなどインバウンドの市場環境が厳しい中、中国からの訪日客は増加傾向。中国の経済成長を取り込むため、さらなる誘客が期待されている。=7月8日、成田空港に到着した中国からの個人観光の第1陣



### 定額給付金

経済対策の一環で3月から定額給付金の支給が始まった。旅館組合や旅行会社、観光協会などでは給付金にちなんだ商品やサービスを展開した。=静岡県の伊豆長岡温泉旅館協同組合は「定額給付券」によるキャンペーンを実施した



### 国内観光活性化

国内観光を活性化させるには、地方自治体、観光・運輸関係の事業者など幅広い連携がますます重要になってきた。=新潟デスティネーション・キャンペーン(DC)は10月1日に開幕し、東京のJR上野駅でオープニングセレモニーが行われた



### 日中韓大臣会合

日中韓の観光担当大臣が10月に愛知・名古屋市に集まった。「東アジア観光大交流時代」の到来を見据えた課題を議論し、さらなる連携強化を進める共同声明を発表した。=10月18日、前原国交相(中央)、中国の邵琪偉国家旅游局長(左)、韓国の柳仁村文化体育観光部長官が握手



### 新型インフル 観光業界に打撃

5月に新型インフルエンザが国内発生し、過剰反応などによる旅行控えて観光に多大な影響をもたらした。関西地方では春の修学旅行シーズンを直撃し、観光事業者が窮地に。6月には金子一義国交相(当時)が「旅行安全宣言」を出した。=(左)5月21日、国際観光旅館連盟近畿支部のメンバーが、自民党観光特別委員会の七条明委員長(当時)に対策を要望。=(右)6月18日、関西への客足回復に向け、東京駅で関西地区の関係者らが観光キャンペーンを実施。観光庁の本保芳明長官も参加した



### アンテナショップ人気

ご当地スイーツなどが人気となり、特産品の販売や観光情報を紹介する都道府県のアンテナショップが注目された。=福島県の魅力を発信する首都圏の拠点「福島県八重洲観光交流館」は7月11日にオープンした



### 評価型ガイドブック

国内外の旅行者に旅館や飲食店を評価して紹介するガイドブックが話題を呼んだ。消費者投票でレストラン、宿泊施設などを選ぶ世界的なガイドブック「ザガットサーベイ長野版」やフランス・ミシュラン社のガイドブック「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」が発行された。=3月18日、東京都内で開かれた「ザガットサーベイ長野版」の発刊を発表するイベント

### 環境にやさしいサービス

CO<sub>2</sub>削減など環境への視点が重要度を増す。宿泊施設などを対象とした国際エコラベル事業として注目を浴びる「グリーンキー」に、環境に配慮したサービスを提供する日本の旅館などが初めて認定された。=5月15日、グリーンキー発祥の地デンマークのメルビン駐日大使から旅館経営者らに認証状が手渡された

